



学校便り 琢磨

第28号 R2.11.2 三豊市立詫間小学校

保護者アンケートの結果をお知らせします！その2

11月になりました。朝晩は、かなり寒くなり、秋の深まりを感じる季節となりました。校庭の木々も赤や黄色に美しく色づいています。

さて、前回の学校便りでは、保護者アンケートの結果をお知らせしました。今回は、「いただいたご意見と学校としての回答」の続きを掲載させていただきます。

- 図書室の本の冊数が少ない。→本は、図書室の他、各学級や多目的のスペースなどにも置いています。限られた予算の中ではありますが、できるだけ新しい本を増やすよう努力しています。今後は、各家庭等で読まなくなった本を学校に寄贈いただいて、「寄贈図書コーナー」に置く等も検討していきたいと考えています。
- 髪の毛が整えられていない子がいる。指導してほしい。→「詫小のきまり」には、髪の毛の長さや、長い場合にゴムなどでとめることが書かれています。その項目については、学校でも指導しています。それ以外のことについては、小学生は基本的に保護者の方をお願いすることになります。他の小学校でも同じような対応をしています。ご家庭のご協力をよろしくお願いいたします。
- 音楽会が中止となり残念だ。その年齢のハーモニーを聞くことができない。→申し訳ありません。音楽会については、以前にもお知らせしましたが、学年団での練習、密集・密接を避ける発表がどうしても難しいというのが実情です。なお、6年生の鼓笛については、屋外で12月に発表を予定しております。

栄光を讃える！

10月31日（土）。香川県小学生選抜陸上競技大会（6年）が、Pikara スタジアムで行われました。入賞者は以下のとおりです。

【6年女子100m】

第5位 畑中 優利さん 13秒90

【6年女子400mリレー】

第7位 真鍋 星風 さん
 山脇 優月 さん
 矢野 帆乃香さん
 畑中 優利 さん

57秒79

なお、5年生は、11月3日に同スタジアムにて行われます。

おめでとうございます。



リレー参観、ありがとうございました。

1、3、5年生は月曜日の朝、2、4、6年生は金曜日の朝に公開してきました「リレー参観」が無事に終わりました。2週目は雨のため中止となってしまいましたが、4回、延べで約500人の保護者の方に参観いただきました。

8：10～8：20という、早朝、短時間の公開ではありましたが、感染拡大防止のための参観エリアを守っていただいたり、拍手で応援いただいたりと、保護者の皆様にはご理解・ご協力いただきましたこと心よりお礼を申し上げます。

ぼくは、ある学校の校庭に植えられたオリーブの木です。小学生の子どもたちが校舎に入ってくる通路の正面に、ぼくは立っています。ぼくは、毎日500人くらいの子どもたちを見ているのですが、子どもたちが、ぼくを見てくれることは、あまりありませんでした。

ある春の日。麦わらぼうしをかぶって、長ぐつをはいたおじさんが、長いはさみを持って、ぼくに近づいてきました。

「何をされるのだろう。とうとう切り取られてしまうのかな？」

ぼくがそう思ったのにはわけがあります。ぼくの枝は伸びほうだいで、あまり美しい姿ではなかったからです。

ところが、おじさんは、チョコチョコと、ぼくの枝だけを切っていました。伸びほうだだった枝は、半分くらいになり、体が軽くなった気がしました。

「これでさっぱりしたね。これまで放っておいたからな。うん、きれいになった。」

と、おじさんは、一人言のように言いました。

そんな姿になったぼくに、何人かの子どもたちが気付いてくれましたが、それからしばらく、子どもたちは学校には来ませんでした。夏休みでもないのに、学校は長いお休みになったからです。

それから半年が過ぎました。季節は秋の終わりになっていました。ぼくは、相変わらず毎日子どもたちが登校してくる姿を高い所から見っていました。

そんなある日。また、長ぐつをはいたおじさんが、ぼくに近づいてきました。おじさんは麦わらぼうしをかぶっていませんでした。もう、暑くなくなったからでしょうか。

おじさんは、また、チョコチョコと、ぼくの枝を切り始めました。今回は、おじさんが高いはしごの上から、ぼくの頭のとっぺん辺りをどんどん切っていました。ぼくは、身動きができないので自分の姿を見ることができません。でも、前と同じように、体が軽くなったような気がしました。

「うーん、半年前から考えていたけど、何とか形になったなあ？明日、子どもたちは、気付いてくれるかな？」

と、おじさんは、また、一人言のように言いました。

次の日の朝、ある子どもが、ぼくの姿に気付いて言いました。

「オリーブの木が、ハートの形になっているよ！」

「ほんとうだ！ハートに見える！」

ぼくは、生まれて初めてたくさんの子どもたちに見てもらうことができました。

ぼくを見上げる子どもたちの笑顔を見てみると、少しはすかしいけれど、何だかとても幸せな気持ちになりました。

